# 大学番号 私立152

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分: 学部の設置

注1



# 金沢工業大学 建築学部

注2

# 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

## 学校法人金沢工業大学 令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 大学事務局

職名・氏名 次長・新井 真二

電話番号 076-294-6399

(夜間) 076-248-1100 (代表)

e — mail syomu@mlist.kanazawa-it.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
  - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- ( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合:「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況 報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

# 建築学部

<建	建築学科>	ージ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人金沢工業大学

- (2) 大 学 名 金沢工業大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
  - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	( イズミヤ トシオ ) <b>泉屋 利郎</b> (平成4年6月)	( イズミヤ ヨシオ ) 泉屋 吉郎 (平成30年6月)	辞任のため 平成30年6月1日 (元)
学長	(オオサワ サトシ) <b>大澤 敏</b> (平成28年4月)		
学 部 長	(ハチヤ トシオ) <b>蜂谷 俊雄</b> (平成30年4月)		
学科長等	(ナガノ シンイチロウ) <b>永野 紳一郎</b> (平成30年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ( )書きで記入してください。
  - (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2) 令和3年度に報告する内容 → (3)
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

#### (5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
  - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。</u> その場合別ファイルを作成し提出してください。
  - 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、 完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

## (5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	1
建築学部 建築学科 学士(工学)	工学関係	4	200	年次人	800	新規入学者を 募集中	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を ( ) 書きで記入してください。
  - ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
  - · 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
  - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

## (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	µ <b>н</b> 25
A 入学定員	200 ( - ) [ - ]	200 ( - ) [ - ]	200 ( - ) [ - ]	200 ( - ) [ - ]			
志願者数	1406 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	1458 — (( 2)) ( — ) [ — ]	1471 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	1305 — (( 2)) ( — ) [ — ] [ — ]			編入学を複数 年次で実施し ている。
受験者数	1372 — ( – ) ( – ) [ – ] [ – ]	1443 — (( 2)) ( — ) [ — ] [ — ]	1443 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	1271 — (( 2)) ( — ) [ — ] [ — ]	1.15 倍	— 倍	令和元年度は 2年次に2人入 学した。 (元)
合格者数	567 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	530 — ((2)) ( — ) [ — ] [ — ]	593 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	601 — ((2)) ( — ) [ — ] [ — ]			令和3年度は2 年次に2人入 学した。 (3)
B 入学者数	249 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	201 — ((2)) ( — ) [ — ] [ — ]	240 — ( — ) ( — ) [ — ] [ — ]	235 — ((2)) ( — ) [ — ] [ — ]			(3)
入学定員超過率 B/A	1. 24	1.00	1. 20	1. 17			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ ( ) 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
  - 転入学生は記入しないでください。
  - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

## (5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 3	0 年度	令和え	元年度	令和 2	2年度	令和(	3 年度	備考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
		249	_	207	-	243	-	237	-	
	1 年次	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
		( - )	( - )	(6)	( - )	(3)	( - )	(2)	( - )	
				239	-	200	-	240	-	
	2 年次			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
				( - )	( - )	(3)	( - )	( - )	( - )	  -  令和元年度2年次には編入学生2人、転学科生
						229	-	198	-	1人を含む。 (元) 令和2年度2年次には転学科生2人を含む。
	3 年次					[ - ]	[ - ]	[ - ]		(2)
						( - )	( - )	(5)	( - )	令和3年度2年次には編入学生2人を含む。   (3)
								222	-	
	4 年次							[ - ]	[ - ]	
								( - )		
		24	49	44	46	6	72	89	97	
	計	[ -	- ]	[ -	- ]	L	- ]	[ -	- ]	
		( -	- )	( 6	3)	(	3 )	(	7 )	

- ·令和3年5月1日 公表
  - (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
    - ・ [ ]内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
    - ・( )内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
    - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
    - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
    - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

## (5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		<b>大松月出市</b>
	在学者数(b)	退学者数(a)	3 光 4 左 左	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
対象年度			入学した年度		うち留学生数	
平成30年度	249 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	446 人	7 人	平成30年度	7 人		就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への転学(2人)、就職(1人)、家庭の事情(2人)
节和几千度	440 X	7 X	令和元年度	0 人	0 人	
			平成30年度	9 人	0 人	学力不足(2人)、他の教育機関への転学(3人)、就職(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、除籍(1人)、その他(1人)
令和2年度	672 人	16 人	令和元年度	7 人	0 人	学力不足(1人)、他の教育機関への転学(3人)、就職(1 人)、除籍(1人)、その他(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
			平成30年度	4 人	0 人	学力不足(1人)、就職(2人)、除籍(1人)
令和3年度	897 人	12 人	令和元年度	5 人	0 人	学力不足(1人)、他の教育機関への転学(2人)、就職(1 人)、除籍(1人)
市和の平反	097 X	12 人	令和2年度	3 人	0 人	他の教育機関への転学(2人)、就職(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		35 人		35 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
  - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
    - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

## (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

# 平成30年度の退学者数(a) = 0 9% 平成30年度の在学者数(b) 249 = 0 9%

 令和元年度の退学者数(a)
 =
 7
 =
 1.56
 %

 令和元年度の在学者数(b)
 446
 446
 1.56
 %

【令和2年度 <u>令和2年度の退学者数(a)</u> = <u>16</u> = 2.38 % 令和2年度の在学者数(b) = 672 = 2.38 %

 令和3年度の退学者数(a)
 =
 12
 =
 1.33

 令和3年度の在学者数(b)
 897
 =
 1.33

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

## 2 授業科目の概要

## <建築学部 建築学科>

## (1)一① 授業科目表

## 【認可時又は届出時】

#### 単位数 専任教員等の配置 任 科目 出当年次 授業科目の名称 必選自 教 助 兼担 修学基礎A 2 34 1前 修学基礎B 1後 2 34 学 基 技術者と社会 2 4 2前・後 小計(3科目) 2 日本学(日本と日本人) A 1 日本学(日本と日本人)B 2 1 科学技術者倫理 6 2 技術マネジメント 2 4 日本文学の世界 2 1 人間と哲学 2 1 法と社会 2 1 経済と社会 2 1 こころとはたらき 2 2 人文 ドイツ語圏と日本 2 東アジア諸国の社会と文化 2 アメリカの文化と風土 2 イギリス文化圏の人々と風土 2 学 韓国の文化と社会 2 1 芸術へのアプローチ 2 1 外 科学技術と社会 2 2 玉 2 1 語 技術者のためのコミュニケーション 国際関係論 3前 2 1 危機管理論 3前 2 1 日本国憲法 2 2 3前・1 ドイツ語 I 3前 2 1 ドイツ語Ⅱ 3後 2 1 中国語I 3前 2 中国語Ⅱ 3後 2 韓国語I 3前 2 1 韓国語Ⅱ 3後 2 1 生涯 健康・体力づくり 1前 6 1 生涯スポーツ演習 1後 6 'n 間 人間と自然セミナーI 1前 4 人間と自然セミナーⅡ 2前・8 4 自 人間と自然セミナーⅢ 4 3後 然 指定放送大学科目 涯 生涯学習特別講義 学 工業概論 2 2前 1 習 小計(34科目) イングリッシュトピックスI 1前 3 イングリッシュトピックスェ 1後 8 4 イングリッシュトピックスⅢ 1・2前 2 語 イングリッシュトピックスⅣ 1・2後 7 2 4 イングリッシュトピックス**V** 1・2前 2 2 ビジネスコミュニケーションI 1・2後 ビジネスコミュニケーションエ 2前 2

## 【令和3年度】

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准数	講	助	助	. 兼
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
	h <del>f 224 ++ 1++</del> •										
修	修学基礎A	1前	2								3
学世	修学基礎B	1後	2								3
基礎	技術者と社会	2前・後	2								4
.~	小計(3科目)										-
	. HI (VIT H)										H
		2前・後	1								2
	日本学(日本と日本人)B	2前・後	1								2
	11 3 3213 11 11 11 11	3前・後	2								1
	技術マネジメント		2								4
	日本文学の世界	1後・2前・2後		2							1
	人間と哲学	1後・2前・2後		2							
	法と社会	1後・2前・2後		2							1
	経済と社会 <b>(未開講)</b> ストけれたき	1後・2前・2後		2							,
人	こころとはたらき	1後・2前・2後		2							2
文	ドイツ語圏と日本(未開講)	(後・2前・2後		2							
社	東アジア諸国の社会と文化(朱剛徽)	接・2前・2後 接・2前・2後		2							
会科	アメリカの文化と風土 (未開業) イギリス文化圏の人々と風土	・		2							1
件学	韓国の文化と社会	後 - 2前 - 2後		2							
	芸術へのアプローチ	1後・2前・2後		2							
外国	科学技術と社会	1後・2前・2後		2							
国語	技術者のためのコミュニケーション	1後・2前・2後		2							1
-11	国際関係論	3前		2							1
	危機管理論	3前		2							1
	日本国憲法	3前・後		2							1
	ドイツ語 I <b>(未開講)</b>	3前		2							
	ドイツ語 <b>Ⅱ (未開講)</b>	3後		2							
	中国語 [ (未開講)	3前		2							
	中国語 Ⅱ <b>(未開講)</b>	3後		2							ĺ
	韓国語I	3前		2							1
	韓国語Ⅱ	3後		2							1
生涯											-
涯ス	健康・体力づくり	1前	1								7
ポー	生涯スポーツ演習	1後	1								7
ッ											
人問	人間と自然セミナー I	1前									4
間と	人間と自然セミナーⅡ	- <b>けリ</b> 2前・後									2
自	人間と自然セミナーⅢ	3後									
然		- 12									
u	指定放送大学科目										
生涯	生涯学習特別講義										ĺ
涯 学	工業概論	2前		2							
習	— 17 HIII	נימי		_							
	小計(34科目)	_									
	イングリッシュトピックス I	1前		2							3
	イングリッシュトピックス! イングリッシュトピックス!!	1削 1後		2							8
#	イングリッシュトピックスII イングリッシュトピックスIII			2							2
英語	イングリッシュトピックスIV	1・2個		2							-
нH	イングリッシュトピックス <b>Ⅳ</b>	1・2版		2							2
		. 4111					l	l	l	1	. ~
	ビジネスコミュニケーションI	1・2後		2							4

## 【認可時又は届出時】

## 【令和3年度】

		配	į	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任				配	单	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	利 [2	¥目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
英語	アカデミックリーディング! アカデミックリーディング! アカデミックリーディング! ライティング-ブレゼンテーション! イングリッシュセミナー! イングリッシュセミナー! 実用英語演習! 実用英語演習! インテンシブイングリッシュ	1·2後 2前 1·2後 2前 1·2後 2前 1·2後 2前 1·2後 2前 前前	_ <u>修</u>	択 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	由	授	授	師_	<u>教</u>	手	担 2 1 2 1 2 1 2 3		英	アカデミックリーディング I アカデミックリーディング I アカデミックリーディング I アイマング・ブレゼンテーション I イングリッシュセミナー I イングリッシュセミナー I 実用英語演習 I 実用英語演習 I インテンシブイングリッシュ	1·2後 2前 1·2後 2前 1·2後 2前 <b>1後</b> 1後 1	<u>修</u>	択 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	由	授	授	<u></u>	<u>教</u>	<u>手</u>	2 2 2 1 2 2 2 3 1
その他	日本語教育科目	-									1		その他	日本語教育科目	_									1
数理基礎	線形代数I エ学のための数理I(開放・機分) エ学のための数理I(開放・機分) エ学のための数理I(開放・機分) 電視・機気数学 情報のための数理I(開放・開始分差配) 情報のための数理I(開放・開始分差配) 情報のための数理I(開放・開始分差配) 情報のための数理 情報を表 のの数理 に関か・開始分差配 のの数理 は、非常のための数理 情報を表 のの数理 は、イオ・ロ学のための数理 は、イオ・化学のための数理 は、イオ・化学のためのが、計 と、一般分割 は、イオ・ル学のためのが、計 と、一般分割 は、イオ・ル学のためのが、計 と、イオ・ル学のための数理 は、イオ・ル学のための数理 は、イオ・ル学の表理 は、イオ・ル学のための数理 は、イオ・ル学の表理 は、イオ・ル学の表理 は、イオ・ル学の表理 は、イオ・ル学のための数理 は、イオ・ル学のための数理 は、イオ・ル学のための数理 は、イオ・ル学のための数理 は、イオ・ル学のための表理 は、イオ・ル学のための表理 は、イオ・ル学のための表理 は、イオ・ル学のための表理 は、イオ・ル学のための表理 は、イオ・ル学のための表理 は、イオ・ル学のための表理 は、イオ・ル学の表理 は、イオ・ル学の表理 は、イオ・ル学の表理 は、イオ・ル学のための表理 は、イオ・ル学の表理 は、イオ・ル	2前	2	2 4 4 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2							12 12 13 15 2 7 1 6 4 2 6 2 1 1 3 3 3 3 5 2 6 7 2 6 7 2 6 7 2 6 7 2 6 7 2 6 7 2 7 2		数理基礎	線形代数I エ学のための数単工(間外・機分) エ学のための数単工(間外・機分) エ学のための数単工(間外・機分) 電報・出版のための数単工(間外・機分) 電報・出版のための数単工(間外・機分) 電報・出版のための数単工(間外・機分) 情報数単分・ ・ 全球・ 全球・ を対したのの数単工(間外・機分) 情報数単理 情報数単理 情報数単理 トゲイナ・化学のための数理 トゲイナ・化学のための数理 基礎である アドバンンスト 基礎では、一年のたのの数(間か・機分) 基礎では、一年のたのの数(国か・機分) 基礎では、一年のたのの数(国か・機分) 基礎では、一年のたのの数(国か・機分) 基礎では、一年のたのの数(国か・機分) 基礎では、一年のたのの数(国か・機分) 基礎では、一年のたのの数(国か・機分) 基礎である アドバンンスト 基礎である アドバンンスト 表示の表示 トゲイナ・化学のための数: トゲイナ・ル学のための数: トゲイナ・ル学のための数: トゲイナ・ル学のための数: トゲイナ・ル学のための数: トゲイナ・ル学の表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 2	2	2 4 4 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1	1	1			17
	小計(26科目)	-												小計(26科目)	-									
基礎実技	プロジェクトデザイン入門 (実験) プロジェクトデザイン I プロジェクトデザイン I プロジェクトデザイン乗数 (実験) コンピュータ操作の基礎	1前 2 1 1 2 1 1 1	2 2 2 2	2							15 14 12 12 2	1	~	プロジェクトデザイン入門 (実験) プロジェクトデザイン I プロジェクトデザイン II プロジェクトデザイン来版 (実験) コンピュータ操作の基礎	1前 1後 2前 2後 1前	2 2 2 2	2							51 24 47 52 7
	小計(5科目)	-												小計(5科目)	-									
] 科 目	建築集級図建築条列 型建築 要要 要要 要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要要	1前前前後後後後前前前前前前後後後後前前前前	1 2	2		2 1 1 2 1 3 1 4 1 7	1 3 1 1 1	1			1 8		専門科目	建築築基礎 製図 建築築 基礎 くみ 建築 要 環境 史 建築 要 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	1前前前後後後後前前前 2 2 2	2 2 2 2 2 2 1 2 4	2		2 1 1 1 3 1 3 1 6	1 1 1 1 1 2	1 1 1			3 1 1 7

## 【認可時又は届出時】

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
E-73		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	建築構法計画	2前	2			1					
	建築構造力学Ⅱ	2前	2			1	1				
	建築環境学Ⅱ	2前	2			1	1				
	建築計画	2後	2			1	1				
	建築CAD	2後	2			1					1
	建築設計Ⅱ	2後	4			6	2				7
	建築材料	2後	2				1				
	建築構造計画	2後	2			1					
	建築設備学	2後	2			1					
	都市デザイン	3前		2		1	1				
	建築デザイン論	3前		2		2					
	建築情報デザイン	3前		2		1					
	都市・まちづくり	3後		2		1	1				
専	建築空間論	3後		2		1	1				
門	サステイナブル建築	3後		2			1				
科	鉄筋コンクリート構造	3前		2		2					
目	鉄骨構造	3前		2		2					
	建築環境設計I	3前		2		2					
	建築環境学Ⅲ	3前		2		1	2				
	建築安全工学	3後		2		2					
	建築構造設計	3後		2		2					
	建築環境設計Ⅱ	3後		2		3	2				
	建築施工	3前		2			1				
	建築法規	3後	2								1
	建築デザイン総合演習A	3前		3		4	2				1
	建築デザイン総合演習B	3後		3		4	2				1
	建築エンジニアリング総合演習A	3前		3		6	3	1			
	建築エンジニアリング総合演習B	3後		3		5	2				
		• IX					_				
	小計(39科目)	-									
専											
ク門	専門ゼミ	3後	1								
トプ 科ロ	プロジェクトデザインⅢ	4通	8								
目ジ											
I	小計(2科目)	-									
7-	進路セミナーI	3前		1							
その	進路セミナーⅡ	3後		1							
他	職業指導	4前・後		4							1
	小計(3科目)	-									
	合計(129科目)	-									

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、下記の単位を修得し、生涯学習科目における指定放送大学科目の履修及び人間と自然科目に合格しなければならない。「修学基礎科目」から6単位以上、「人間形成基礎科目」から12単位以上、「英語科目」から8単位以上、「専門科目」から59単位以上、「専門プロジェクト科目」から9単位以上、「人文社会科学・外国語、生涯学習、英語、数理基礎、基礎実技及び専門の科目群」から課程共通の6単位を修得し、全ての必修科目を含め、124単位以上を修得しなけれ ばならない。

(履修科目の登録の上限:48単位(年間)、24単位(学期)

## 【令和3年度】

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
	建築構法計画	2前	2			1					
	建築構造力学Ⅱ	2前	2			2	4	4			
	建築環境学Ⅱ	2前	2			1	4				4
	建築計画	2後	2			1	1				
	建築CAD	2後	2			1					1
	建築設計Ⅱ	2後	4			6	2	4			8
	建築材料	2後	2			2	1				
	建築構造計画	2後	2			3					
	建築設備学	2後	2			1					
	都市デザイン	3前		2		4	1	1			
	建築デザイン論	3前		2		2					
	建築情報デザイン	3前		2		1					1
	都市・まちづくり	3後		2		1	1	4			
専	建築空間論	3後		2		4	1				
門	サステイナブル建築	3後		2			1				
科日	鉄筋コンクリート構造	3前		2		2		1			
目	鉄骨構造	3前		2		2					
	建築環境設計I	3前		2		1					
	建築環境学Ⅲ	3前		2		1	2				
	建築安全工学	3後		2		2					
	建築構造設計	3後		2		2		1			
	建築環境設計Ⅱ	3後		2		1	2				2
	建築施工	3前		2		1	1				
	建築法規	3後	2			1					4
	建築デザイン総合演習A	3前		3		4	1				5
	建築デザイン総合演習B	3後		3		3	2	4			5
	建築エンジニアリング総合演習A	3前		3		7	1	1			
	建築エンジニアリング総合演習B	3後		3		6	1	1			
	小計(39科目)	-									
専		- 46									
ク門トプ		3後	1								
科口	プロジェクトデザインⅢ	4通	8								
目ジェ	· =! /a*: □ \										
	小計(2科目)	-									
	進路セミナー I	0 <del>44</del>		1		۱,					
そ	進路セミナーⅡ	3前		1		4 5	1 2				
の	職業指導	3後		1 4		Ð	2				,
他	<b>顺未</b> 拍导	4前・1女		4							2
	小計(3科目)	$\vdash$									
$\vdash$	合計(129科目)	⊢									_
	D D I (12314 D)										

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、下記の単位を修得し、生涯学習科目における指定放送大学

4年以上在学し、かつ、下記の単位を修得し、生涯学省科目における指定放送大学科目の履修及び人間と自然科目に合格しなければならない。「修学基礎科目」から6単位以上、「人間形成基礎科目」から12単位以上、「英語科目」から8単位以上、「数理基礎科目」から16単位以上、「基礎実技科目」から8単位以上、「専門科目」から59単位以上、「専門プロジェクト科目」から9単位以上、「人文社会科学・外国語、生涯学習、英語、数理基礎、基礎実技及び専門の科目群」から課程共通の6単位を修得し、全ての必修科目を含め、124単位以上を修得しなければせたない。 ばならない

(履修科目の登録の上限:48単位(年間)、24単位(学期)

## 【令和元年度】

	a =	配	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任			配	È	单位娄	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	科目区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
修学基礎	修学基礎A 修学基礎B 技術者と社会	1前 1後 <sup>2前・後</sup>	修 2 2 2	択	曲	授	_授	師	<u>教</u>	手	担 39 38 4	修学基礎	修学基礎A 修学基礎B 技術者と社会	1前 1後 <sub>2前・後</sub>	修 2 2 2	択	由	授	授	師	教	手	担 40 40 6
	小計(3科目)	-											小計(3科目)	-									
人文社会科学・外国語	日本学(日本と日本代 日本学学術本学学学 技不文学哲会会にと語画の社会とのです。 東アジア諸国の社会とのでは文字が表す。 東アジアは国ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	3前・後 3前・後 (株・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項・項	1 1 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							2 2 6 4 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	人文社会科学・外国語	日本学学長 と 日本 と 日本 学 子 本 化 土 土 会 チ と 日本 と 日本 と 日本 と 日本 と 日本 学 哲会 社 と お 国 国 国 日本 学 哲会 社 と お 国 国 国 の へ 技 が 男 管 国 ツ ツ 語 語 語 語 語 正 取 と れ と し と と と 風 と は と ロ と 社 こ ・ ア ジ リカ な の の 体 技 の の の 係 理 憲 語 語 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳 耳	2前,後 後 後 後 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	1 1 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							2 3 6 4 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
生涯スポーツ	健康・体力づくり 生涯スポーツ演習										6	生涯スポーツ	健康・体力づくり 生涯スポーツ演習		1								7
人間と自然	人間と自然セミナー I 人間と自然セミナー I 人間と自然セミナーⅢ	1前 <sup>2前・後</sup> 3後									4 4 4	人間と自然	人間と自然セミナー I 人間と自然セミナー I 人間と自然セミナー II	1前 <sup>2前・後</sup> 3後									4 4 4
生涯学習	指定放送大学科目 生涯学習特別講義 工業概論	2前		2							1	生涯学習	指定放送大学科目 生涯学習特別講義 工業概論	2前		2							1
-	小計(34科目)	-										-	小計(34科目)	-									$\vdash$
英語	イングリッシュトビックスV ビジネスコミュニケーションI ビジネスコミュニケーションI アカデミックリーディング I アカデミックリーディング I ライティング・プレゼンテーションI ライティング・プレゼンテーションI イングリッシュセミナー I	1後		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							4 8 8 7 5 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2	英語	イングリッシュトピックス I イングリッシュトピックス II イングリッシュトピックス II イングリッシュトピックス IV イングリッシュトピックス V ピジネスコミュニケーション I ビジネスコミュニケーション I アカデミックリーディング II アカデミックリーディング II アオティング・ブレゼンテーション I イングリッシュセミナー I イングリッシュセミナー I	1後 1·2前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							6 8 6 7 4 4 3 2 2 2 1

## 【令和元年度】

		配	<u>i</u>	单位数	钕	専	任教	員等	の配	置	兼任				配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教 授	准教授	講師	助教	助手	・兼担		¥目 ≅分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
英語	実用英語演習 I 実用英語演習 Ⅱ ィンテンシブイングリッシュ	1後 1後 2前		2 2 2							2 3 1		英	実用英語演習 I 実用英語演習 Ⅱ ィンテンシフィンクリッシュ	1後 1後 2前		2 2 2							2 3 1
その他	日本語教育科目										1		その他	日本語教育科目										1
1世	小計(17科目)	-											먠	小計(17科目)	-									
数理基礎	線形代数 I 線形代数 I エキのための数理I (開致・機分) エキのための数理I (開発・機分) 工年のための数理I (開発・機分) 機械数学 情報数学 情報のための数理I (開発・機粉分基的 情報を表のの数理 (開発・機粉分基的 が大力を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	1後前前後後前後後前後後 2011 1011 1011 1011 1011 1011 1011 10	2	2 4 4 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2							16 21 16 14 5 2 5 11 5 4 7 1 1 3 2 6 7 2 6 7 2 6 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2	1	数理基礎	線形代数 I エ学のための機関工(機数・機分) エ学のための機関工(機数・機分) エ学のための機関工(機数・機分) エ学のための機関工(機数・機分) 建物・超のための機関工(機数・機分 環境・主要のたのの機関工・機力を組織が 情報を使いるのための機工(機の・機力が組織が 情報を使いるのためを関す、(機力・機力) 情報を使いるのためを関す。(機力・機力) 情報を使いるというのでは、機力・機力 情報を使いるというのでは、(機力・機力) 基礎・機力・化学のための機関(機力・機分) 基礎・サーバイナ・化学のための機関(機力・機力) 基礎・サーバイナ・化学のための機関(機力・機力) 基礎・サーバインスト 基礎・サーバインスト 数理B	11 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 2	2	2 4 4 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2		1	1	1			17 20 18 17 5 2 4 9 9 5 4 5 3 1 1 3 3 3 3 4 5 2 2 8 6 6 1
基礎実技	小計(26科目)  プロジェクトデザイン入門 (実験) プロジェクトデザイン I プロジェクトデザイン I プロジェクトデザイン I プロジェクトデザイン スター・ファック・デザイン スター・ファック・デザイン 表験 (実験) コンピュータ操作の基礎  小計(5科目)	1前 1後 2前 2前 1前	2 2 2 2	2							51 30 12 12 8	1	~	小計(26科目)  プロジェクトデザイン入門 (実験) プロジェクトデザイン I プロジェクトデザイン I プロジェクトデザイン ズロジェクトデザイン スカッピュータ 操作の基礎 小計(5科目)	1 1 1後 2前 2後 1前	2 2 2 2	2							45 32 42 47 8
専門科目	建築築築を 建築等で 建築等で 建築等の 建築を 建築で で は、で は、で は、で は、で は、で は、で は、で は、で は、で	1前 1前 1前 1前 1後	2 2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 4 4 4 4 2 2 4 4 4 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4 2 2 2 2 4	2 2		2 1 1 2 1 3 1 4 1 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2	1 1			2 1 8		専門科目	建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建建	1 前前前後後後後前前前前後 2 2 前前前後 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 2 3	2 2 2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 4 2 2 2 4	2 2		2	1 2 1 1 1 3 3 1 1 1 1	1 1 1			2 1 1 6 1 1 4

*1.E		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	建築材料	2後	2				1				
	建築構造計画	2後	2			1					
	建築設備学	2後	2			1					
	都市デザイン	3前		2		1	1				
	建築デザイン論	3前		2		2					
	建築情報デザイン	3前		2		1					
	都市・まちづくり	3後		2		1	1				
	建築空間論	3後		2		1	1				
	サステイナブル建築	3後		2			1				
	鉄筋コンクリート構造	3前		2		2					
車	鉄骨構造	3前		2		2					
門	建築環境設計I	3前		2		2					
科	建築環境学Ⅲ	3前		2		1	2				
目	建築安全工学	3後		2		2					
	建築構造設計	3後		2		2					
	建築環境設計Ⅱ	3後		2		3	2				
	建築施工	3前		2			1				
	建築法規	3後	2								1
	建築デザイン総合演習A	3前		3		4	2				1
	建築デザイン総合演習B	3後		3		4	2				1
	建築エンジニアリング総合演習A	3前		3		6	3	1			
	建築エンジニアリング総合演習B	3後		3		5	2				
		• 12					_				
	小計(39科目)	_									
専											
ク門	専門ゼミ	3後	1								
トプ 科ロ	プロジェクトデザインⅢ	4通	8								
目ジ											
ェ	小計(2科目)	_									
7	進路セミナーI	3前		1							
その	進路セミナーⅡ	3後		1							
他	職業指導	4前・後		4							1
	小計(3科目)	-									
	合計(129科目)	-									

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、下記の単位を修得し、生涯学習科目における指定放送大学科目の履修及び人間と自然科目に合格しなければならない。「修学基礎科目」から6単位以上、「人間形成基礎科目」から12単位以上、「英語科目」から8単位以上、「数理基礎科目」から16単位以上、「基礎実技科目」から8単位以上、「専門科目」から59単位以上、「専門プロジェクト科目」から9単位以上、「人文社会科学・外国語、生涯学習、英語、数理基礎、基礎実技及び専門の科目群」から課程共通の6単位を修得し、全ての必修科目を含め、124単位以上を修得しなけれ

(履修科目の登録の上限:48単位(年間)、24単位(学期)

## 【令和元年度】

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
		次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
	建築材料	2後	2			1	2				
	建築構造計画	2後	2			3					
	建築設備学	2後	2			1					
	都市デザイン	3前		2		1	1				
	建築デザイン論	3前		2		2					
	建築情報デザイン	3前		2		1					
	都市・まちづくり	3後		2		1	1				
	建築空間論	3後		2		1	1				
	サステイナブル建築	3後		2			1				
	鉄筋コンクリート構造	3前		2		2					
専	鉄骨構造	3前		2		2					
門	建築環境設計I	3前		2		2					
科	建築環境学Ⅲ	3前		2		1	2				
目	建築安全工学	3後		2		2					
	建築構造設計	3後		2		2					
	建築環境設計Ⅱ	3後		2		3	2				
	建築施工	3前		2			1				
	建築法規	3後	2								1
	建築デザイン総合演習A	3前		3		4	2				1
	建築デザイン総合演習B	3後		3		4	2				1
	建築エンジニアリング総合演習A	3前		3		6	3	1			
	建築エンジニアリング総合演習B	3後		3		5	2				
	小計(39科目)	-									
専											
クロトプ	専門ゼミ	3後	1								
科口	プロジェクトデザインⅢ	4通	8								
目ジェ	1) =1 (o#) =)										
F	小計(2科目)	-									
	進路セミナー I	3前		1							
そ	進路セミナーⅡ	3後		1							
の	職業指導	4前・後		4							1
他	130 A 11 A	154		, T							l '
	小計(3科目)	_									
	合計(129科目)	-									

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、下記の単位を修得し、生涯学習科目における指定放送大学科目の履修及び人間と自然科目に合格しなければならない。「修学基礎科目」から6単位以上、「人間形成基礎科目」から12単位以上、「英語科目」から8単位以上、「数理基礎科目」から16単位以上、「基礎実技科目」から8単位以上、「専門科目」から59単位以上、「専門プロジェクト科目」から9単位以上、「人文社会科学・外国語、生涯学習、英語、数理基礎、基礎実技及び専門の科目群」から課程共通の6単位を修得し、全ての必修科目を含め、124単位以上を修得しなけれ

(履修科目の登録の上限:48単位(年間)、24単位(学期)

## 【令和2年度】

科目	15 4k 11 D & 5 14	配当		単位数			任教				兼任
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
修	修学基礎A	1前	2	100	Щ	1x	1x	ціц	叔	7	2
学基礎	修学基礎B 技術者と社会	1後 <sub>2前・後</sub>	2								2
,	小計(3科目)	-									
人文社会科学・外国語	日本学 (日本と日本人) B 科学技術者倫理	2前 前 後 後 後 後 後 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							2 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
生涯スポーツ	健康・体力づくり生涯スポーツ演習		1								
人間と自然	人間と自然セミナー I 人間と自然セミナー I 人間と自然セミナー II	1前 <sup>2前・後</sup> 3後									4
生涯学習	指定放送大学科目 生涯学習特別講義 工業概論	2前		2							-
	小計(34科目)										
英語	イングリッシュトピックス I イングリッシュトピックス II イングリッシュトピックス IV イングリッシュトピックス IV ビジネスコミュニケーション II ビジネスコミュニケーション II アカデミックリーディング II アオティング・ブレゼンテーション II ライティング・ブレゼンテーション II イングリッシュセミナー I	1前後 1·2前 1·26前 1·26前 1·26前 26前 26前 26前 26前 26前 26前 26前 26前 26前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							

## 【令和2年度】

科目	120 110 110 110 110	配当		単位数					の配		兼任
区分	授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助工	兼担
英	実用英語演習 I	1後	修	択 2	由	授	授	師	教	手	担2
語	実用英語演習Ⅱ	1後		2							3
科目	インテンシブイングリッシュ	2前		2							1
その	日本語教育科目										1
他											
	小計(17科目)	_									
	線形代数 I	1前	2								19
	線形代数Ⅱ	1後		2							10
	工学のための数理工 (関数・微分)	1前		4							18
	エ学のための数理エ (積分・微分方程式) 機械数学	1後		4 2							10
	電気数学	1後 2 <b>後</b>		2		1	1	1			Ð
	情報数学	1前		2			•				1
	環境・建築のための数理工(関数・機積分基礎)	1前		4							3
	環境・建築系数理	1後		2							4
	情報のための数理エ(機分・積分)	1後 1前		4							5
	基礎情報数理	1前		2							6
数 理	情報のための統計	1後		2							4
基基	情報数理A	1後		2							4
礎	情報数理B	2後		2							1
	アドバンスト情報数理A アドバンスト情報数理B	2前 2後		2							1
	バイオ・化学のための数理(関数・微積分基礎)	1前		4							3
	バイオ・化学のための統計	1後		2							3
	バイオ・化学のための数理 (微分・積分)	1後		4							3
	基礎化学基礎物理	1後・2前・2後 1後・2前・2後		2							3 10
	基礎生物	2前・後		2							3
	技術者のための統計	2前・後		2							8
	アドバンスト数理A			2							6
	アドバンスト数理B	2後		2							2
	小計(26科目)	_									
	プロジェクトデザイン入門 (実験) プロジェクトデザイン I	1前	2								19
基礎	プロジェクトデザインⅡ	1後 2前	2								3
実	プロジェクトデザイン実践(実験)	2後	2								5
技	コンピュータ操作の基礎	1前		2							7
	小計(5科目)	_									-
	建築大意	1前	2			2	1				١,
	建築基礎製図 建築のしくみ	1前 1前	2			1	1 1	1			2
	建築環境学I	1前	2			1	1	<b>'</b>			4
	日本建築史	1後	2			2					
	建築デザイン基礎	1後		2		1					1
専	建築構造力学 I 建築設備総論	1後 1%	2	2		3		1			
門科	建業設備総論 アカデミックライティング	1後 2前	1			3	1				
目	西洋建築史	2前	2			1	1				1
	建築設計 I	2前	4			6	2	1			4
		2前	2	l		1					
	建築構法計画		_								
	建築構造力学Ⅱ	2前	2			1	1				4
	建築構造力学Ⅱ 建築環境学Ⅱ	2前 2前	2 2 2			1 1 1	1 1 1				4
	建築構造力学Ⅱ	2前	2			1	1				1

## 【今和2年度】

<b>7.1.</b> D		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
		火	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	建築材料	2後	2			1	2				
	建築構造計画	2後	2			3					
	建築設備学	2後	2			1					
	都市デザイン	3前		2		4	1	1			
	建築デザイン論	3前		2		2					
	建築情報デザイン	3前		2		1					1
	都市・まちづくり	3後		2		1	1	1			
	建築空間論	3後		2		4	1				
	サステイナブル建築	3後		2			1				
	鉄筋コンクリート構造	3前		2		2		1			
車	鉄骨構造	3前		2		2					
門	建築環境設計I	3前		2		1					
科	建築環境学Ⅲ	3前		2		1	2				
目	建築安全工学	3後		2		2	_				
	建築構造設計	3後		2		2		1			
	建築環境設計Ⅱ	3後		2		1	2	٠.			
	建築施工	3前		2			1				
	建築法規	3後	2				'				1
	建築デザイン総合演習A			3		4	1				Ę
	建築デザイン総合演習B	3前				4 3	_	4			2
		3後		3			2	1			•
	建築エンジニアリング総合演習A	3前		3		6	2	1			
	建築エンジニアリング総合演習B	3後		3		6	2	1			
	小計(39科目)	-									
専 ク門	声明 じっ	244	1								
クロトプ		3後	1								
科ロ目ジ	プロジェクトデザインⅢ	4通	8								
I	小計(2科目)	-									
	進路セミナーI	3前		1		3	1				
そ	進路セミナーⅡ					4	3				
の		3後		1		4	3				١,
他	職業指導	4前・後		4							1
	小計(3科目)	Ξ									
	合計(129科目)	_									

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、下記の単位を修得し、生涯学習科目における指定放送大学 科目の履修及び人間と自然科目に合格しなければならない。

「修学基礎科目」から6単位以上、「人間形成基礎科目」から12単位以上、「英語科 目」から8単位以上、「数理基礎科目」から16単位以上、「基礎実技科目」から8単位以上、「専門科目」から59単位以上、「専門プロジェクト科目」から9単位以上、「人文社会科学・外国語、生涯学習、英語、数理基礎、基礎実技及び専門の科目群」から 課程共通の6単位を修得し、全ての必修科目を含め、124単位以上を修得しなけれ ばならない

(履修科目の登録の上限:48単位(年間)、24単位(学期)

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
  - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。

  - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
  - (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)
  - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

・授業科目運営上の理由により、「実用英語演習 I 」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「実用英語演習 II 」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「電気数学」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「情報数学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「基礎情報数理」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「基礎情報数理A」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築基礎製図」の専任教員等の配置を「教授1准教授3」から「教授0准教授2講師1兼任2」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築のしくみ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築のしくみ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築のしくみ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

## 【令和元年度】

・授業科目運営上の理由により、「情報数理B」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「アドバンスト情報数理A」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築環境学I」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授1兼任1」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「アカデミックライティング」の専任教員等の配置を「教授4准教授2」から「教授2兼任2」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築設計I」の専任教員等の配置を「教授7准教授1兼任8」から「教授6准教授3兼任6」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築環境学II」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授1兼任1」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築環境学II」の専任教員等の配置を「教授1准教授2」から「教授1兼任4」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築計II」の専任教員等の配置を「教授6准教授2兼任7」から「教授8准教授1兼任4」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築材料」の専任教員等の配置を「教授6准教授2東任7」から「教授8准教授1兼任4」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築材料」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築材料」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
・授業科目運営上の理由により、「建築材料」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。

#### 【令和2年度】

兼任・兼担教員の人数を変更。

・授業科目運営上の理由により、「建築基礎製図」の専任教員等の配置を「准教授2講師1兼任2」から「教授1准教授1講師1兼任 2」に変更。 更。 ・授業科目運営上の理由により、「西洋建築史」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「兼任1」に変更。 ・授業科目運営上の理由により、「建築設計 I 」の専任教員等の配置を「教授 6 准教授 3 兼任 6 」から「教授 6 准教授 2 講師 1 兼任 4 」 に変更。 ·授業科目運営上の理由により、「建築環境学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1兼任1」から「教授1」に変更。 ・授業科目運営上の理由により、「建築計画」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授1」に変更 ・授業科目運営上の理由により、「建築設計Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8准教授1兼任4」から「教授7准教授1講師1兼任4」 に変更。 ・授業科目運営上の理由により、「都市デザイン」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「准教授1講師1」に変更。 ・授業科目運営上の理由により、「建築情報デザイン」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1兼任1」に変更。 ・授業科目運営上の理由により、「都市・まちづくり」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授1権教授1講師1」に変 更。 「建築空間論」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「准教授1」に変更。 「鉄筋コンクリート構造」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2講師1」に変更。 授業科目運営上の理由により、 授業科目運営上の理由により、 「建築環境設計I」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。 授業科目運営上の理由により、 「建築環境学Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1准教授2」から「教授1)に変更「建築構造設計」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2講師1」に変更。 授業科目運営上の理由により、 授業科目運営上の理由により、 授業科目運営上の理由により、 「建築環境設計Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3准教授2」から「教授1」に変更 「建築デザイン総合演習A」の専任教員等の配置を「教授4准教授2兼任1」から「教授4准教授1兼 授業科目運営上の理由により、 任5」に変更 ・授業科目運営上の理由により、「建築デザイン総合演習B」の専任教員等の配置を「教授4准教授2兼任1」から「教授3准教授2講 師1兼任4」に変更。 ・授業科目運営上の理由により、「建築エンジニアリング総合演習A」の専任教員等の配置を「教授6准教授3講師1」から「教授6准 教授2講師1」に変更。 ・授業科目運営上の理由により、「建築エンジニアリング総合演習B」の専任教員等の配置を「教授5准教授2」から「教授6准教授2 講師1」に変更

・授業科目運営上の理由により、「修学基礎科目、人間形成基礎科目、英語科目、数理基礎科目、基礎実技科目」の一部科目において、

## 【令和3年度】

- ・授業科目運営上の理由により、「建築基礎製図」の専任教員等の配置を「教授1准教授1講師1兼任2」から「准教授1講師1兼任 3 に変更。

- 任フ」に変更。
- ・授業科目運営上の理由により、「建築構造力学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授2」に変更。 ・授業科目運営上の理由により、「建築設計Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7准教授1講師1兼任4」から「教授6准教授2兼任8」 に変更.
- ・授業科目運営上の理由により、「建築材料」の専任教員等の配置を「教授1准教授2」から「教授2准教授1」に変更。 ・授業科目運営上の理由により、「都市・まちづくり」の専任教員等の配置を「教授1准教授1講師1」から「教授1准教授1」に変

- ・授業科目運営上の理由により、「建築環境設計Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1兼任2」に変更。
  ・授業科目運営上の理由により、「建築施工」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」に変更。
  ・授業科目運営上の理由により、「建築施工」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
  ・授業科目運営上の理由により、「建築法規」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
  ・授業科目運営上の理由により、「建築デザイン総合演習B」の専任教員等の配置を「教授3准教授2講師1兼任4」から「教授3准教
- ・授業科目運営への理由により、「建築エンジニアリング総合演習A」の専任教員等の配置を「教授6准教授2講師1」から「教授7准 教授1講師1」に変更。
- ・授業科目運営上の理由により、「建築エンジニアリング総合演習B」の専任教員等の配置を「教授6准教授2講師1」から「教授6准 教授1講師1」に変更
- ・授業科目運営上の理由により、「修学基礎科目、人間形成基礎科目、英語科目、数理基礎科目、基礎実技科目」の一部科目において、 兼任・兼担教員の人数を変更。
- (注)・2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
  - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

### (2) 授業科目数

		設	置時	の計画									変更	状況						備考
必修	必修 選択 自由 計(A				١)	必修		<u>\$</u>	選択		5	自由		計			)佣 行			
39	科目	90	科目	0	科目	129	科目	[	39 [ 0	科目	9	0	科目	0	0	科目	12 [	9	科目 ]	

(注) · <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合: $\Delta$ 1)

## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

## (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

|--|

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

## 3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分				内				2	\$				備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する 学校等の				計		運動場用地(バス利用30分、
++		校台	舎 敷 坩	<u>t</u>		2, 087. 00 m <sup>2</sup> 3. 415. 72 m <sup>2</sup>	23	3, 876. 39 r	า้	11, 6	02. 00	mi		27, 565. 28, 894.		』9km)       国際高等専門学校と共用
校 -		運動	場用地	ļ		0 m²	20	5, 687. 00 r	า้		0	m <sup>‡</sup>	20	5, 687.	00 m	法令上の必要面積 59,200 ㎡ 67.200 ㎡
地		小	計	-		2, 087. 00 m <sup>2</sup> 3, 415. 72 m <sup>2</sup>	43	9, 563. 39 r	า้	11, 6	02. 00	m²		33, 252. 3 <mark>4, 581</mark> .		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
等		そ	の他	ļ		6, 987. 00	3	6, 880. 12 r	ก๋		0	m <sup>*</sup>		3, 867.		(2)
Ā		合	計	-		9, 074. 00	47	6, 443. 51 r				mi		l7, 119. l8, 448.		2
					専	用	共	用		共用する 学校等の	専用			計		国際高等専門学校と共用 法令上の必要面積 118,160.1 ㎡
(2) 校			舎		18	3, 245. 08		23, 236. 50 r 2 <del>0, 755. 98 r</del>		<del>15, 0</del> 20, 9			<del>21</del> 22		94 m	70.147 ㎡ 校舎を新築、増築(元) 白山麓キャンパス学生寮が参入し ていたため(2) 高専専用から大学専用に変更した ため(3)
					( 178, 9	951.96 m <sup>2</sup> )	( 20, 7	55.98 <b>m</b> ³)	( .	20, 622.	37 m <sup>2</sup> )	(	( 220, 330. 31		m³)	
				講	義室	演習	室	実験実	図室	情報处	<b>心理学習</b>		語	学学習		1
(3) 教		室	等		85	室	119 室		114 室			6 室			1 室	大学全体
									1	(補助	職員 2	人)		職員	1 人)	
						新設学部	等の名称				室 27	1	数			退職及び新規採用の結果、6 名減となった(30)
(4) 専	仕教	(貝研究	至			大学	全体				280 290 304	<b>).</b> }			室	退職及び新規採用の結果、9 名減となった(2) 退職及び新規採用の結果、12 名減となった(3)
	<b>±</b>	新設学部	如生	[3	書	学術	雑誌			視聴覚	<b>党</b> 資料	機械・	·器具	標	本	
(5)	布	の名和		〔う	ち外国書〕	〔うちタ		電子ジャ-								
				500 1	357 [141, 23	<b>冊</b>	種 639〔19〕	〔うち外[ 31]	国書]		点 13. 011		点 1. 919		点	     学生の修学環境の改善の
図		大学全	./+	<del>581,</del> 1 572, 3	6 <mark>56 〔140, 87</mark> 306 〔140, 40	<del>4)</del> 4)	<del>693 (19)</del> 701 (19)	3 (19) 1 (19) 322			12, 868 12, 753		1, 826 1, 812		(	子生の修子環境の以音の
書•		入子王	144		9 <del>21 (139, 65</del> 56 (140, 874)		<del>722 [21]</del> 3 [19] )	7 7		( 12.	24, 753	(1.9	<del>1, 575</del> (1, 826)		0 )	ため(2) 学生の修学環境の改善の ため(3)
設備				590,	357 [141, 23	4)	639 [19]	317	(295)	13, 011		1 1, 919				=
,,,,		計		572,	<del>656 (140, 87</del> 306 (140, 40 921 (139, 65	4)	<del>693 [19]</del> 701 [19] 722 [21]	322	<del>[299]</del> <del>[307]</del> [300]		12, 868 12, 753		1, 826 1, 812		(	
					56 (140, 874)		3 [19] )		(299) )	( 12,	24, 753 868 )	(1, 8	<del>1, 575</del> 326)	(	0 )	
		_	**		面	積		閲覧座	席数		収	納	可 能	m ·	数	大学全体
(6) 図		書	館			8, 363. 35 8, 155. 13	mî <del>mî</del>			I, 512 I <del>, 617</del>			1	, 000, 0	000 <del>m</del>	学生の修学環境の改善の ため(3)
					面											大学全体
(7) 体		育	館			7 11, 250. 29 m <sup>*</sup> 天池自然学苑(運動用地) <del>7, 085. 83 m<sup>*</sup></del> 205, 687. 00 m <sup>*</sup> 陸上競技場、ゴルフ場							·球場1i 易	面、	学生の修学環境の改善のため(3)	
		経費	D	Σ.	分	開設年度	完成年度	区	分	開設前	前年度	開設	年度	完成	<b></b> 年度	
(8)			教員 1	人当り	研究費等	1,210千円	1, 210 <del>1</del>	円 図書類	<b>購入費</b>	13, 60	00千円	13, 60	00千円	13, 6	600千円	」シャーナル、ケータ
経費の 積り及 維持方	び	*	共 同	研 3	究 費 等	9,500千円	円 設備則	と備購入費 6,200千円 11,500千円 11,500千円				500千円	ベースを含む -			
無持力の 概		学生 1 納尓			1 年次 1,515	第2年次		3 年次	第4年		第 5	年次	$\perp$	第6年		-
	ļ				1,343 千	1,515∓		1,515千円		515千円			· [ ]		千円	4
		学生	納付金	以外の約	維持方法の	概要 私立大	学等経常費	補助金、資產	重運用収	入、寄附	付金収入.	、補助	金収入	、雑収	入等	

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
  - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
    - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

## 4. 既設大学等の状況

大学の名称	金沢	工業大学	<u>*</u>				学生募集停止学科数	6	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数		5		考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	<u>h</u>		
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年	度		
工学部	4	880	人 -	3, 520	学士	1. 07	0. 95	_	昭和40	_			
機械工学科	4	200	_	800	学士	0. 99	0. 88	_	昭和40	石川県野々市			
航空システム工学科	4	60	-	240	(工学) 学士 (工学)	0. 96	0. 61	-	平成16	扇が丘7番1号 同上	Ī		
ロボティクス学科	4	100	-	400	学士	1. 10	1. 03	-	平成16	同上			
電気電子工学科	4	220	-	940	学士	1. 03	0. 90	-	平成30	同上		令和3年原 員変更(	
電気電子工学科	4	-	-	-	学士	-	-	-	平成16	同上	3	平成30年 生募集停	より学
電子情報通信工学科	4	-	-	-	学士 <sup>(工学)</sup>	-	-	-	平成16	同上		平成30年 生募集停	
情報工学科	4	200	-	800	学士 <sup>(工学)</sup>	1. 21	1. 21	-	平成24	同上			
環境土木工学科	4	100	-	340	学士 <sup>(工学)</sup>	1. 11	0. 83	-	平成30	同上		令和3年月 員変更(	
情報フロンティア学部	4	240	_	960	学士	1. 15	1. 13	_	平成16	_			
メディア情報学科	4	120	_	480	(情報学) 学士	1. 13	1. 13	_	平成16	石川県野々市			
経営情報学科	4	60	_	240	学士	1. 11	0. 96	_	平成16	扇が丘7番1号 同上	†		
心理科学科	4	60	_	240	(情報学) 学士 (情報学)	0. 84	0. 81	_	平成16	同上			
					(1育報子)								
建築学部	4	200	-	800	学士 <sup>(工学)</sup>	1. 15	1. 17	-	平成30	-			
<u>建築学科</u>	4	200	-	800	学士 <sup>(工学)</sup>	1. 15	1. 17	-	平成30	石川県野々市 扇が丘7番1号			
環境・建築学部	4	_	_	_	学士	_	_	_	平成16	_			
は 建築デザイン学科	4	_	_	_	(工学) 学士	_	_	_	平成16	石川県野々市			
建築学科	4	_	_	_	学士	_	_	_	平成16	扇が丘7番1号     同上	3	生募集停 平成30年	より学
環境土木工学科	4	_	_	_	学士	_	_	_	平成16	同上	3	生募集停 平成30年	より学
					(工学)						12	生募集停	TE.
バイオ・化学部	4	160	-	640	学士	0. 92	0. 78	-	平成20	-			
応用化学科	4	80	-	320	学士	0. 86	0. 70	-	平成20	石川県野々市 扇が丘7番1号			
応用バイオ学科	4	80	-	320	学士	0. 98	0. 86	-	平成20	同上			
大学全体	_	1, 480	_	5, 920	_	1. 07	0. 99	_	_	_			
X1 ±11		.,		5,525			0.00						
工学研究科博士前期													
(修士)課程	_	119		234	修士	1. 64	1. 63	-	-	- 石川県野々市	市		
機械工学専攻	2	18	-	36	(工学) 修士	4. 27	4. 16	-	昭和53	扇が丘7番1号			
環境土木工学専攻	2	10 18	-	20 36	修士修士	0. 55 0. 80	0. 50 0. 88	-	昭和53	同上			
情報工学専攻 電気電子工学専攻	2	18	_	36	修士	0. 80 2. 32	0. 88 2. 27	_	昭和53 昭和55	同上			
電	2	18	_	16	修士	2. 32 1. 56	1. 50	_	昭和55 平成2	同上 同上			
バイオ・化学専攻	2	18		36	修士	0. 60	0. 66	_	平成2	同上			
建築学専攻	2	16		32	(理工学) <b>修士</b>	1. 43	1. 56	_	昭和55	同上			
たホテサグ	4	10		32	(工学)	1. 40	1. 00		ыпдпоо	IHJ			

高信頼ものづくり	2	3	_	6	修士	0. 64	0. 71	_	平成19	同上	
■ 専攻 (2年制) ■ 高信頼ものづくり ■ 専攻 (1年制)	1	4	-	4	(工学) 修士 (工学)	0. 00	0. 00	-	平成19	同上	
ザダ (「午前) ビジネスアーキテクト専攻 (2年制)	2	6	_	12	修士 (エ学)又は	1. 00	0. 50	_	昭和57	同上	
ビジネスアーキテクト専攻(1年制)	1	-	-	-	(経営情報) 修士 (エ学)又は (経営情報)	-	-	-	平成21	東京都港区愛宕1- 3-4 愛宕東洋ビル12F	平成28年より学 生募集停止
心理科学研究科修士課程	2	6	-	12		0. 91	0. 83	-	-	-	
臨床心理学専攻	2	6	-	12	修士	0. 91	0. 83	-	平成16	石川県野々市市 扇が丘7番1号	
イノベーションマネ ジメント研究科修士課程	1	40	-	40		0. 57	0. 57	-	-	-	
イノベーション マネジメント専攻	1	40	-	40	修士 (経営管理) 又は(知的財 産マネジメ ント)	0. 57	0. 57	-	平成28	東京都港区愛宕1- 3-4 愛宕東洋ビル12F	
大学院全体	-	165	-	286	-	1. 48	1. 34	-	-	-	
工学研究科博士後期課程	3	43	-	129		0. 13	0. 11	-	-	-	
機械工学専攻	3	5	-	15	博士	0. 26	0. 20	-	昭和55	石川県野々市市 扇が丘7番1号	
環境土木工学専攻	3	5	-	15	博士	0. 13	0. 00	-	昭和55	同上	
情報工学専攻	3	5	-	15	(工学)	0. 13	0.00	-	昭和55	同上	
電気電子工学専攻	3	6	-	18	はません	0. 16	0. 33	-	昭和57	同上	
システム設計工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)又は (学術)	0. 22	0.00	-	平成2	同上	
バイオ・化学専攻	3	6	-	18	博士	0. 05	0. 16	-	平成2	同上	
建築学専攻	3	5	-	15	博士	0. 00	0. 00	-	平成15	同上	
高信頼ものづくり 専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0. 13	0. 20	-	平成20	同上	
大学院全体	_	43	-	129	-	0. 13	0. 11	-	-	-	
大学の名称	国際	高等専門	<b>『学校</b>				学生募集停止学科数	3	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍				•
国際理工学科	5	45	-	225	準 <b>学士</b> (エ学)	0. 20	0. 20	令和2	平成30	石川県金沢市久 安2丁目270番地	定員変更(△45)
電気電子工学科	5	_	_	_	準学士 (工学)	_	_	_	昭和37	同上	平成30年より学
機械工学科	5	-	-	-	(エ字) 準学士	-	-	-	昭和38	同上	生募集停止 平成30年より学 生募集停止
グローバル情報学科	5	-	-	-	準学士 (工学)	-	-	-	平成27	同上	王募集停止 平成30年より学 生募集停止
学校全体	-	45	-	225	-	0. 20	0. 20	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
  - (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
  - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

## (2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
17	9
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
  - (2) -② 専仟教員等数【大学】

		設置時	の計画					現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
17	6	1	0	24	0	13	5	2	0	20	0
(14)	(5)	(1)	(0)	(20)	0						
	現在(	報告時)の	完成年度時	が状況		現在(報告時)の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 ( C ' )	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
13	5	2	0	20	0	13	5	5	0	23	0
[ △4 ]	[ △1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[△4]	[0]	[ △4 ]	[ △1 ]	[4]	[ 0 ]	[△1]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
  - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、教員審査を受審済みであり、
  - 完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名減の場合: △1) ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
  - [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
  - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
60	4	4
45	Þ	b

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 ・「千事情成」には、ヨ政子部における教員の定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員教をび完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員教を記入してください。 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

  - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A) %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

%

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## (3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	1091	担当予定科目 後任補充状況		京	<b>尤任辞</b> 追	人	就任)の理	由				
							-											
-							_		_									
				合計	(D)							往	<b>後任補充状況</b>	の集計	(E)			
	京	扰任?	を辞	退した教員数	担当科目	目数の合計	├ (a) +	+ (b) + (c)	1)0	つ合計	数(a)		②の合計	十数 (b)	1	③の合計	十数 (c)	)
					必	修	0	科目	必值	多	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			•		選	択	0	科目	選択	R	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	人	自	由	0	科目	自由	b	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					Ī	H	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
  - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
  - 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
  - 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、
  - 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - 専任教員が担当する(している)場合は「①」 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員	員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科	3	後任	補充状	況		刮	往任等	の理由				
					必修	建築基礎製圖	2		1									
					必修	建築環境学	П		1									
1	准教授	加藤	未佳	H30. 3	選択	建築環境設計	· II		1		U20 2 21仕仕 休節:日際 (20)							
l '	准狄汉	加加縣	不住	1130. 3	選択	建築環境学I	I		1		- H30.3.31付け 依願退職 (30)							
					選択	建築エンジニアリング総合演習A			1									
					選択	建築エンジニアリング総合	演習B		1									
					必修	建築基礎製図	図		1									
					必修	アカテ゛ミックライティン	r <sup>†</sup>		1									
2	准教授	戸田	穣	R2. 3	必修	西洋建築史			1		R2.3.31付け 依願退職 (2)							
					必修	建築設計Ⅱ			1									
					選択	建築空間論	i		1									
_			ᄉᆗ	(F)						- 44	<b>货任補充状況</b>	の生計	(0)	\				
										-								
	辞任	<b>した教員数</b>		担当科目	割数の合計 (	(a) + (b) + (c)	の合計	数(a)		②の合計	†数(b)	)	③の合計	数(	(c)			
				必	修	6 科目	业	修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
	•			選	択	5 科目	選	戥択	5	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
	2		人	自	由	0 科目	É	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
				100	†	11 科目	i	dž	11	科目	計	0	科目	計	0	科目		

- (注)・ 一度就任した後に、<u>定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任</u>教員についてに記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

## (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教	担当科目数の合	計 (a) +	(b) + (c)	+ (c) ①の合計数 (a) ②の合計数 (b)				③の合計数 (c)				
		必修	6	科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	5	科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
2	, ,	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	11	科目	計	11 科目	計	0 科目	計	0 科目		

## (3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
  - (3) 一⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

#### (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	参・選択・自由の別 担当予定科目			状況			辞任等の	理由		
_														
				合計	•					後任補充物	犬況の集計			
	£	辛任 し	<b>ンた教員数</b>	担当科目数の合	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数(a)		②の合計	十数 (b)	③の合計	数(c)	
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0	科目
		•		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0	科目
		0	λ.	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目	計	0	科目

- (注)・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

  - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

# 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
届出時(平成30年)	完成年度のというでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	留意事項	を表表表技して上め高 は学の思関延学歳指ます 4名准籍よ年と育あ年引り は届年業退るすさ年が留す学ら、々、つうる構学規なを規決教、授雇 度内の5お数はにえ考成きる 、出に大職規るれ(多意がは、研を専てし傾成校則る行程定員教に用 本6歳名りを設学るえに改 なにる就職」といる情ではあにしにの。均りま沢年本材づまでちはし 、下11のるを十織、しっ 2お「業員、」ま歳職の学で等と的程まもにつ人の度「にてついて保 は以が師書を 平書係学教程規で6く事、実企究積門いて向に法」年い」しに授つを 学5以、考置生教まつ善 本設た沢定関に運、教とえ、え術たおに、く年、就歳確す長科ま導で。今名、教しび度とがる齢きま でで校則再人基。をて指創るおて採半そ年まし工年人確きすも大7で 教がの名年と満分編今でて をすると以ので献し以たが。 大6意に職本5院歳ま 1 、在お成す教でも、い をするとは、研を専びりま沢年本材づまでちはし 、下11のるを十織、しっ をするとは、研を専びしば、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	

		:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-
設置計画履行状況調 査 時 (平成30年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任とのではまる。のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	指摘事項 (改善)	超い摘りはら者方り上どな を5のを成きすると、実、、々、つうる今、0異計に改ら在見上来考で貢用数の齢す准年本名。、いいて採半そ年ま歳到画つ善いたこ考本学企研を専てし傾年ま歳到してで表書が設とおしにの。均り9和を授まてては、数とえ学で業究積門いて向度た准でしきを、以のいて採半そ年ま歳2、3すはまいにのより9和を授まてては、数とえ学で業のでは、数の齢す准年本名。、いいは、2年では、数のよりのでは、数4学の年引りりにである。と、は、2年では、数4学の年引りりにできない。数4学の年引りりにできない。数4学の年引りりによりには、4年では、4年では、4年では、4年では、4年では、4年では、4年では、4年で	履行済	令和2年4月に、50歳 准教授を本学科へ異動計画 しています。 教員の構成が特定の範囲の 年齢に著しく偏ることがな いよう今後も務めてまいり ます。
	専任教のには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	指商書)	はいて学に定在い 出で内則究と体名科教は機で取 度退はりてと授ん 分編指め実用 では、、に 営つ業確きしし 置4こ程く教。2こ指学支続を 9名年とと講りま の組が止のの。 関係講残至 上い大保、てて 届名のに研員具1の導科援し 年の度なし師、せ 十織、 充採関係講残至 上い大保、てて 届名のに研員具1の導科援し 年の度なし師、せ 十織、 充採	履行中	来では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

本学は、教育課程運営上 専任教員の補充計画に関し 当初計画に対する専任 設置計画履行状況 教員の充足率が 必要となる教員人事につい ては、平成31年度は候補 杳 87.50%となっている て、「学校法人金沢工業大 者4名の審査を諮り、講師 1名の採用が決定しました が、当初計画どおりの 学就業規則」、「人材確保 追加書面調査 専任教員数の確保に向 に関する規程」に基づき、 が、残り3名については採 用には至りませんでした。 (令和元年) けた今後の教員採用計 定年に達した教員に対して 画について、具体的に 説明すること。また、 在職延長を決定し運営して 令和2年度は、前年度同様 います。 に募集しておりますが現時 点で採用には至っておりま 当初計画よりも専任教 平成29年4月の設置届 出時には、専任教員24名 員が減少している現状 せん。引き続き、教育研究 において、教育・研究 で構成していましたが、 の充実を図るため完成年度 上の支障の有無につい の内3名の教員は上記規程 までに専任教員を補充する に則り在職延長として、科 て説明するとともに 計画を進めております。 何らかの支障がある場 目担当教員ではなく「研究 指導」を担当する教員とし 合は、その具体的な対 応策等についても併せ て届出しています。届出の て説明すること。 別記様式第3号(その2の 1) 教員の氏名等において (建築学部建築学科) も「研究指導」として表記 提出するなど、具体的な授 業運用は教員21名で届出 しています つまり、平成29年度の 設置届出時には、その年度 に在籍している教員数24 名を計上しましたが、その 中には、翌年度に建築学科 の所属を離れ研究指導を主 とする教員3名を含めてし まったため、現在の状況と なっています。 この科目を担当しない研 究指導教員3名に関して は、所属は学科から離れま すが、学内の研究支援機構 に所属することで継続して 履行中 当該学科の学生に対して研 究指導が行なえる体制を 取っています。 また、本学では6科目1 7単位から構成するプロ ジェクトデザイン教育をカ リキュラムの主柱としてい ます。この内、1~2年次 までに4科目8単位を基礎 教育部実技教育課程の教員 が担当しますが、当該科目 の建築学科学生指導では、 建築を専門分野とする基礎 実技教育課程等に所属する 教員3名が担当するなど、 科目運営・学生指導上の実 質的な支障は生じておりま せん。 なお、平成29年度末に 専任女性教員1名の退職が 生じ、平成30年度は20 名の専任教員数となりまし たが、その対応として、当 該教員が非常勤講師として 科目担当しており授業運営 に支障はありません。現状 として、学生への十分な教 育が行える教員組織編制で あると考えますが、追加確 認事項を真摯に受け止め、 引き続き教育研究の充実を 図るため専任教員の採用を 継続してまいります。

	定年数の、まめる領域では、大学のは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	指摘事項	必て学に定在い関の員たはと、学ら者方り企す、7ジリまま教教科指とに度す指導を、就関年職まし設3が上し本は、、々、業。な単ェキすで育員目導す所講る導致教法」程た決気平時構内にし、あにと的程と、学構ザの内目実し電電実教 意見な学規る達長。は届名こ規届で学業究積門験、かトラこ4基担電は基すの課人金「に員し子2はし2りい設といて採半っ、はすン柱1単教す工を教(任事沢人基に運工9、て名在ま以のて貢用数で、6る教と~位育が学専育令)営工をで、おび、基に、対してはし2りい設といて採半っ、はすン柱1単教す工を教(任事、人基に運工9、て名在ま以のて貢用数で、6る教と~位育が学専育令)営工業で、大人基に運工9、で名は、あにと的程と、学構ザの内目実し電電実教 歳科質で、大人基に運工9、で名では、あにと的程と、学構ザの内目実し電電表の、実では、対づ対営学年専いの職す来考技献しい、科プ育し2を課、科門課和が、学学と「業でをして料・4 任ま教延。、え術して上ま、目口をて年基程当学分程2科学は、大保、ででに月教し員長、工か、たおが、1、カい次礎の該生野等年当生生と、	履行済	し補授歳の成な年すて、日の対デ学専育(任運なん十織がけ範と研教りり、
--	---	------	---	-----	------------------------------------

平成31年度(令和元年 当初計画に対する専任 令和元年度末に専任教員 1 設置計画履行状況 名の退職が生じ、令和2年 教員の充足率が 度) は候補者4名の審査を 杳 度は19名の専任教員数と 79.16%となっている 諮り、講師1名の採用が決 が、当初計画どおりの 定しています。令和2年度 なりましたが、その対応と 追加書面調査 も数名の候補者を審査した して、令和3年度は建築を 専任教員数の確保に向 専門分野とする基礎実技教 (令和2年) けた今後の教員採用計 ものの、新型コロナウイル 画について、具体的に 説明すること。また、 ス感染症のことも影響し、 育課程等の2名の教員を学 着任には至りませんでし 科専任教員として教育にあ 当初計画よりも専任教 た。具体的には2名の新任 たります。現状として、学 員が減少している現状 教員を確保できるように、 生への十分な教育が行える において、教育研究上 学部学科の教員とも継続し 教員組織編制であると考え の支障の有無について て候補者の選出を調整して ますが、追加確認事項を真 説明するとともに、何 います。 摯に受け止め、引き続き教 らかの支障がある場合 本学は、教育課程運営上 育研究の充実を図るため専 は、その具体的な対応 必要となる教員人事につい 任教員2名を新規採用でき 策等についても併せて 「学校法人金沢工業大 るように調整いたします。 説明すること。 学就業規則」、「人材確保 (建 築学部建築学科) に関する規程」に基づき、 定年に達した教員に対して 在職延長を決定し運営して います。 平成29年4月の設置届 出時には、専任教員24名 で構成していましたが、 の内3名の教員は上記規程 に則り在職延長として、科 目担当教員ではなく「研究 指導」を担当する教員とし て届出しています。届出の 別記様式第3号(その2の 1) 教員の氏名等において も「研究指導」として表記 提出するなど、具体的な授 業運用は教員21名で届出 しています。 履行中 つまり、平成29年度の 設置届出時には、その年度 に在籍している教員数24 名を計上しましたが、その 中には、翌年度に建築学科 の所属を離れ研究指導を主 とする教員3名を含めてし まったため、現在の状況と なっています。 この科目を担当しない研 究指導教員3名に関して は、所属は学科から離れま すが、学内の研究支援機構 に所属することで継続して 当該学科の学生に対して研 究指導が行なえる体制を 取っています。 また、本学では6科目1 7単位から構成するプロ ジェクトデザイン教育をカ リキュラムの主柱としてい ます。この内、1~2年次 までに4科目8単位を基礎 教育部基礎実技教育課程の 教員が担当しますが、当該 科目の建築学科学生指導 は、建築を専門分野とする 基礎実技教育課程等に所属 する教員が担当するなど. 所属課程は異なるものの当

じておりません。

該学科の学生をもっぱら指 導しており科目運営・学生 指導上の実質的な支障は生

調		定年数ら踏努組策る気に異なるに異なるによる高程切も将来に学りの、まめ織定こ電に表が規適との着。学にえが規適との着。学にえが規適との着。学はのないなに表す。とおり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まなり、まな	指摘善道	必て学に定在い関の員たはと、学ら者方り企す、7ジリまま教教科指とに度す指い、な、業。な単ェキすで育員目導す所、る導のではな学規る達長。は届名こ規届で学業究積門験、かトラこ4基担電は基す所とのはな学規る達長。は届名こ規届で学業究積門験、かトラこ4基担電は基すのとはな学規の達長。は届名こ規届で学業究積門験、かトラこ4基担電は基すのとはな学規の達長。は届名こ規届で学業究積門験、かトラこ4基担電は基すのとはな学規の達長。は届名こ規届で学業究積門験、かトラこ4基担電は基する3、支教教法」程た決気平時構内にし、あにと的程と、学構ザの内目実し電電実教歳目は理事に工材づ対営学年専いの程出はで等者極課者、本らデムの科礎当気、礎る3、支理に工材づ対営学年専いの程出はで等者極課者、本らデムの科礎当気、礎る3、支理に工材づ対営学年専いの程出はで等者極課者、本らデムの科礎当気、礎る3、支理に工材づ対営学年専いの程出はで等者極課者、本らデムの科礎当気、礎る3、支理に工材づ対営学年専いの報す来考技献し以い、科プ育し2を課、科門課和が・て運に工材づ対営学年専いの報す来考技献し以い、科プ育し2を課、科門課和が・て運に工材で対営とは、大型に対し、対し、科プ育し2を課、科門課和が・て運に工材で対営とは、大型には、大型には、大型には、大型には、大型には、大型には、大型には、大型に	履行済	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
---	--	---	------	---	-----	--

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

## <建築学部 建築学科>

## (1) 設置計画変更事項等

変更内容・状況、今後の見通しなど
_

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
  - a 委員会の設置状況
    - 添付資料 1 参照
  - b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
    - •添付資料2参照
  - c 委員会の審議事項等
    - ·添付資料3参照
- ② 実施状況
  - a 実施内容
    - 授業アンケート
    - KIT-FD研修会
    - 教育フォーラム
    - ・工学教育研究誌「KIT Progress」の発行
  - b 実施方法
    - 授業アンケート

授業改善に学生の意見を取り入れる方法として、全ての開講クラスで授業アンケートを実施している。授業アンケートは、従来までのアンケート用紙を配付・回収する方法から、令和2年度よりWeb回答に変更して、最終授業時に学生に周知している。授業アンケート結果は約1ヶ月後に学内イントラネットで開示され、授業担当教員は、この授業アンケート結果に対してフィードバックコメントを学内イントラネット上のシステムに入力することになっており、このフィードバックコメントも学内イントラネットで開示される。

## · KIT-FD研修会

本学では、全教員を対象とした"KIT-FD研修会"を実施しており、特に教育技術の改善に関する指導に注力している。研修は4日間終日で構成されており、まず、学長より本学の教育理念、教育目標、教育改革のプロセス、教育改善への取り組みについて説明され、続いて、各部長による教育システム、プロジェクトデザイン教育、修学指導などについての講演と指導が行われる。2日目以降には個別の演習を含めた教育研修が行われ、教育技術を専門とする講師を招いて、学生に分かりやすい講義を行うための技法、教材開発、運用方法、時間管理、目標達成度の評価などの研修を受け、学生と教員が相互に教育効果を上げるための基本技術を学習している。また、講義のビデオ撮影による自己分析などを取り入れており、教育技術の個別指導が行われ、研修の成果としてグループごとに発表を行う相互討論を実施している。

なお、このKIT-FD研修会は教員全員に最低1回以上の受講が義務付けられており、特に、新任教員は就任1〜2年目 の受講が指導されている。

#### 教育フォーラム

教育フォーラムは本学が取り組んでいる様々な教育の改善策や成果を全教員と共有することをねらいに開催され、 「修学基礎教育課程」の取り組み、「基礎実技教育課程」の取り組みなど専門分野だけでなく本学の教育の特色を表す 教育的取り組みや科目について教育成果等が紹介されている。

「教育フォーラム」開催通知は庶務課より全教員に電子メールで通達される。また、全教員に予め配布される大学関 係予定表にも掲載されている。

#### ・工学教育研究誌「KIT Progress」の発行

本学が行っている「工学教育」の更なる向上発展に資することをねらいに、KIT Progress編集委員会が設置され、本 学教職員および工学教育に関心を持つ学外の有識者を対象に、年1回発行される。各年に全教員を対象として「工学教 育」に関するテーマが設定され、そのテーマに沿った論文、論説、事例報告などが応募される。これまで扱われたテ マとしては「専門実験・演習」「工学倫理」「コミュニケーションとプレゼンテーション教育」「専門教育」などがあ り、各テーマで10から20件が報告されている。

#### c 開催状況(教員の参加状況含む)

#### 授業アンケート

各学期に開講される全ての授業科目(開講クラス)において授業アンケートを令和2年度よりWeb版に変更して実施し ている。その結果は、授業アンケートシステムでアンケート結果を学内イントラネットで教職員及び学生に開示できて いる。

#### · KIT-FD研修会

KIT-FD研修会は全学的に実施され、以下に示すような実績があり、毎年新任教員を中心に受講している。ただし、充 実した研修を提供するために、一度の参加者数は、15名~20名程度としている。

1	1	'	Г	ועו ט	沙五

開催日程	参加人数
令和2年8月20日(木)~8月25日(火)	1 4 名
令和元年8月26日(月)~8月30日(金)	1 9名
平成30年8月20日(月)~8月24日(金)	1 7 名
平成29年8月22日(火)~8月25日(金)	1 4 名
平成28年9月 5日(月)~9月 8日(木)	1 7名
平成27年8月25日(火)~8月28日(金)	1 1名
平成26年9月 2日(火)~9月 5日(金)	2 0名
平成25年9月 3日(火)~9月 6日(金)	1 9名
平成24年8月28日(火)~8月31日(金)	2 1名
平成23年8月30日(火)~9月 2日(金)	2 0 名

## 教育フォーラム

平成16年に始まった教育フォーラムは毎年複数回開催され、令和元年度までに56回開催し177テーマが発表さ れた。また、実施後はフォーラムの配布資料および発表資料が学内イントラネットに開示されており、教職員全員がその内容を知ることができる。なお、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、全教員を参加対象 とする全学部会を年10回開催し、感染症対策を考慮した授業運営方針を周知すると共に、遠隔授業の好事例・問題点 等を発表し教職員間で共有している。また、遠隔授業実態調査を実施し、その結果を共有することで授業運営の改善を 図っている。

#### ・工学教育研究誌「KIT Progress」の発行

平成7年創刊号から令和2年度までに29刊が発行されている。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育点検評価部委員会を中心に、下記の取組による授業改善を実施している。

授業アンケート結果は「教員アンケート」による自己分析、「アンケート分析」の回覧による相互評価、科目担当者 の打合せによる次年度学習支援計画書 (シラバス) の改善などに使用されており、教育技術の継続的改善の基礎データ として活かされている。教育フォーラムの開催や工学教育研究誌「KIT Progress」の発行により、全教員に対する授業 改善に関する情報の共有化が図られている。KIT-FD研修会では、本学の教育理念、教育目標、教育改革のプロセス、教 育改善への取り組みなど教育についての講演と指導が行われ全教員の意思統一を行うと共に、講義を行うための技法、 教材開発、運用方法、時間管理、目標達成度の評価などの研修を受けることで教育効果を上げるための技術の向上を実 施している。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
  - a 実施の有無及び実施時期
    - ・授業アンケート

授業改善を目的とした授業アンケートを、各学期に開講される全ての授業科目において最終授業時に実施している。 令和2年度より、従来までのアンケート用紙を配付・回収する方法からWeb版に変更した。共通設問及び科目独自の設問 の構成に加え、令和2年度は遠隔授業に関する設問を設け、学生の現状を把握し、授業運営の改善を図っている。

- b 教員や学生への公開状況、方法等
  - 授業アンケート

集計されたアンケート結果については、学内イントラネットで教職員及び学生に開示している。 また、授業アンケート結果について、教員から学生へコメントを返す"フィードバックコメントシステム"を導入し実施している。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

## (4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
- 1. 建築学部建築学科設置の趣旨及び必要性計画どおりで変更なし。
- 2. 学部、学科等の特色 計画どおりで変更なし。
- 3. 建築学部及び建築学科の名称及び学位の名称 計画どおりで変更なし。
- 4. 教育課程の編成の考え方及び特色

教育課程の編成計画どおりに科目を開講し、授業運営も適切に行われている。

5. 教員組織の編成の考え方および特色

本学科の教員は博士 (工学) 14名、工学博士1名、博士 (学術) 1名が学位を、残りの2名は1級建築士の資格を取得し、設置基準を満たした教員数を確保していることから、本学科の設置の趣旨・目的を達成するために授業等を運営できる十分な教員を配置した教員組織であり問題はないと考えるが、引き続き教育研究の充実を図るため専任教員の確保を継続していく。また、年齢構成は65歳以下4名、60歳以下7名、50歳以下5名、40歳以下2名である。

6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

教育方法については計画したとおり、基礎教育及び専門教育のそれぞれの授業内容に応じた教育方法が全学及び学科において準備されており問題はない。

履修指導については、修学アドバイザー(クラス担任)による履修指導体制を取っており、学生個々に対応した履修 指導を行なうと共に、ポートフォリオシステムの運用を行なっている。

卒業要件については、計画どおり変更はない。

7. 施設、設備等の整備計画

専門科目の施設、設備については、学生募集を停止した環境・建築学部建築デザイン学科および建築学科の施設、設備を活用するため問題はない。

基礎教育等の施設、設備等について全学で共有しており問題はない。

8. 入学者選抜の概要

入学者選抜についてもアドミッションポリシーの「求める学生像」

- ・ 本学で学ぶ目的や意義が明確な者
- ・ 本学の教育システムを積極的に活用できる者
- ・ 科学技術を学び応用するために求められる基礎学力を身につけている者

を持った入学生を選抜するための5区分の入学試験を実施した。

それぞれの入試については、入試に関する資料及び本学ホームページにおいて公開している。

令和3年度入学者数は、235名(定員200名)と十分な入学者を確保できた。

#### 9. 管理運営

計画どおりで運営されており問題なし。

#### 10. 自己点検・評価

計画どおり教育点検評価部委員会が中心となり全学で実施している授業点検・授業改善の実施を予定しており問題はない。

## 11. 情報の公開

平成22年12月から必要な情報を探し易いように、トップページに「教育情報の公表」というボタンを設け、冊子 形式にまとめたPDFファイルでも情報公開している。ホームページのアドレスは、「https://www.kanazawait.ac.jp/about\_kit/ir.html#anchor01」である。

#### 12. 授業内容方法の改善を図るための組織的な取り組み

届出時に計画していた「KIT-FD研修会」、建築学科の「FD研修会」等の開催を計画している。また、教育点検評価部委員会を中心とする教育改善の活動を実施する。これらの活動は、これまでの環境・建築学部建築デザイン学科および建築学科でも実施しており、運用に問題はない。

## 13. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

全学で実施されているキャリア教育とこれまでの環境・建築学部建築デザイン学科および建築学科で行ってきた進路 指導の実施を計画しており問題はない。

以上から届出時の計画からの変更はなく問題はない。また、次年度以降についても変更の予定はなく計画に沿った運用を行なう準備を進めている。

#### ② 自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
  - 2012年 公表(公益財団法人日本高等教育評価機構「自己点検書」)
  - · 2 0 1 5 年 公表 (公益財団法人大学基準協会「自己点検·評価報告書」)
- b 公表方法
  - ・大学ホームページ上に公開

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で検討中
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## (5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告	書(令和3年度)	
а	公表予定の有無	[ 有 · 無 ]	
≪ a		[ 調査結果公表後 1 ヶ月以内 · 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 · 公表後 3 ヶ月以降 ウェブサイトへの掲載 · その他 ( )	)
≪ a	で公表「無」の場合≫ 公表しない理由	[	)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。